



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

品 格

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

「花も生きているんやから、水に入れてあげなさい。」
「花を入れる容器がありません。」

ある国際大会で勝利したときに、贈られた花束が、ホテルの部屋に無造作に置かれたままになっているのを見たアーティストックスイミング指導者の井村雅代さんと選手たちとの会話だ。

これは、川名紀美さんの著書「井村雅代 不屈の魂」に記された一節である。

この会話の後、井村さんは、ペットボトルの上部を切り取った即席の花瓶の作り方を教えた。そして、大会などで贈られた花束をお世話になったコーチやトレーナーに感謝の言葉を添えて配るよう指導した。現在でも日本チームの選手たちは、それを伝統として実践しているらしい。井村さんは、「日本アーティストックスイミングの母」と呼ばれ、リオ五輪で監督として日本を銅メダル獲得に導いた方だ。選手たちへの厳しい指導は有名なところだが、勝負だけにこだわらず、人を育て、心を育てることを大事にしている指導者だ。

私たちが、子供たちに寄り添い、個々の実態に応じた助言や共感を大事にしながら、家庭や学校で教育に当たっている。反面、教えるべき常識や厳しさといった、将来、大人になったときに必要な資質の育成が少なくなってきたようにも感じる。

井村さんはこう続ける。「花を水にもつけず、その辺に置いておく子に、人を感動させる美しい演技ができますか。私は、選手にトップアスリートとしてのパリティとした品格を身につけて欲しいんです」と。

ところで、多くの感動をもたらした「2024 パリ オリンピック」では、選手たちが単に勝負にこだわるのではなく、感動プレーを見せてくれた。柔道や卓球、体操競技と並んで注目を集めたのがスケートボードや今大会、新競技のブレイキン(ブレイクダンス)で、10代半ばから20代までの若い選手たちの活躍が素晴らしかった。そして勝ち負けに関係なく、会場全体が選手全員に温かい声援を送っていた雰囲気にも感動した。

8月28日からは「2024 パリ パラリンピック」が始まっている。個人的には、「2016 リオ パラリンピック」のPR動画(You Tube)が好きで、その動画(Yes, I Canと歌っている動画)の素晴らしさに「パリパラリンピック」への応援の意欲が高まっている。

車いすテニスの小田凱人選手、上地結衣選手、車いすバスケットボールや車いすラグビーの選手、そして、ブラインドサッカー、ボッチャの選手など9月8日の閉会式までの競技が楽しみである。

9月の行事予定

日 曜	行 事
1 日	
2 月	小・中学校始業式・2学期給食開始 図書館休館日
3 火	定例教育委員会
4 水	
5 木	
6 金	市理科作品審査会
7 土	
8 日	南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会 (知覧体育館)
9 月	図書館休館日 高齢者学級合同学習会
10 火	第3回事務職員研修会・教育支援委員会②
11 水	市作文審査会・地区館連絡会
12 木	県PTA大会実行委員会③
13 金	小学校体育主任研修会②
14 土	土曜授業 第76回県民スポーツ大会:総合開会式
15 日	中学校体育大会 家庭の日・市民会館休館日 「キン・シオクニ展」～10/18(南浜館)
16 月	(祝)敬老の日
17 火	図書館休館日
18 水	市教務主任等研修会① 二十歳のつどい実行委員会①
19 木	南薩地区ステップアップ研修(南薩教育事務所) 「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業(志布志市・伊崎田中学校)
20 金	市フレッシュ研修(初任校研修) 市民あいさつ運動
21 土	青少年育成の日
22 日	(祝)秋分の日
23 月	振替休日
24 火	学校訪問(桜山中)※合同訪問 特別支援学級担任等研修会② 図書館休館日
25 水	県市町村教育長会・第2回専門部委員会 市生徒指導主任研修会②・いじめ問題専門委員会 「学びの改革」研究協力校研究公開(坊津学園)
26 木	市学校音楽祭運営委員会 館内整理日(図書館)
27 金	市校長研修会④
28 土	
29 日	
30 月	図書館休館日

第69回枕崎市少年野球大会

7月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり第69回枕崎市少年野球大会が開催され、市内4校区から単位子ども会を中心に結成された10チームが大会に出場し、熱戦が繰り広げられました。

出場した子供たちは、地域の方々の熱い声援を受けながら、力の限りプレーしていました。

優勝: 枕崎西チーム 準優勝: 大塚チーム
3位: 大塚・下野原チーム 枕崎東チーム



大会の様子と優勝した枕崎西チーム

第33回かつお釣り体験アドベンチャー(本研修)

今年度で33回目を迎えるかつお釣り体験アドベンチャー(本研修)は、沖縄方面に台風が接近していたため、急遽、近海の底物釣りに変更して7月22日(月)に活動を実施しました。

参加した10人の中学生は、全員が終日元気に活動し、「あじ」や「さば」等を中心に全部で59匹の魚を釣り上げ、充実した研修となりました。



かつお釣り体験アドベンチャーの様子

子供の移動経路・通学路等の安全推進会議

8月6日(火)、第1回枕崎市子供の移動経路・通学路等の安全推進会議が行われました。各小・中学校から出された危険箇所について、国道事務所や南薩地域振興局、市長部局等の道路管理者、及び警察を含めた関係機関が合同で点検し(今年度の合同点検は7箇所)、子供たちの安全を第一に考え、対応を検討しました。

今後、子供たちが安心して登下校及び校区内の移動ができるように、関係機関と連携を図り、危険箇所の改善を図っていきます。



合同点検の様子

夏の教育相談会

7月31日(水)～8月5日(月)にかけて、枕崎市「夏の教育相談会」を実施しました。本市の教育相談会では、市外から専門家をお招きして実施しており、発達に関する悩みを個別に相談することができます。

今回は延べ7名の専門家を招聘し、40組を超えるご家庭や学校の先生方が、教育や子育てに関する相談に応じていただきました。

相談では、日頃の悩みに加えて、適切な学びの場についても検討することができる貴重な機会となります。相談会を希望される保護者の皆様は、現在通われている学校または園までご相談ください。

稚内市青少年交流派遣団の受入

8月2日(金)から5日(月)の4日間にかけて、友好都市の稚内市の青少年交流派遣団が枕崎市を訪問し、市内2校の県立高校との交流や枕崎みなと祭り「きばらん海」への参加等をとおして、多くの枕崎市民と触れ合いました。

また、本市や本県の歴史や文化、産業等についても深く学び、全ての交流派遣団員が充実した4日間を過ごすことができました。今後もさらに交流を深めていけたらと思います。



稚内市青少年交流派遣団の活動の様子

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

○ 特別支援教育支援員の紹介
本市は、小・中学校全8校に計29人の特別支援教育支援員を配置しています。

特別支援教育支援員は、主に通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対して、次のような支援を提供します。

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒に対する日常生活動作(教室移動など)など日常生活における支援
- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒に対する学習面での支援など学習活動のサポート